

二六五九番

争へばあらそ 神も憎にくます よしゑやし よそふる君きみが  
憎にくくあらなくに

二六六〇番

夜並よならべて 君きみを来きませと ちはやぶる 神かみの社やしろを  
祈のまぬ日はなし

二六六一番

霊たまぢはふ 神かみも我われをば 打う棄つてこそ しゑや命いのちの  
惜をしけくもなし

二六六二番

我わ妹ぎ子もに 又またも逢あはむと ちはやぶる 神かみの社やしろ  
を 祈のまぬ日はなし